

全国中国語教育協議会

ニューズレター

第11号

1999年6月8日発行

第2回理事会で99年度の活動方針を検討

夏季セミナーは「私の教授法」をメインテーマに

去る3月27日(土)に全国中国語教育協議会の第2回理事会が開催され、①現況報告、②収支報告、③98年度活動報告、④99年度活動方針、⑤年次大会の開催時期、⑥研究論集の刊行、⑦協議会の財政基盤、⑧その他、等について話し合われた。下記に①現況報告を掲げるほか、②以下の議事の概要を本号p.2~3に掲載する。理事会当日に急用で欠席された方もあり、全役員23名のうち出席11名となったため、会長の判断で意見の交換に重点を置き、重要案件についてはアンケート等によって今後なお理事ならびに会員の意見を徴することとした。なお、今回の理事会を待たずに計画された99年度第1期月例セミナーは、前号でお知らせしたように、5月末までに全4回のうち前半の2回が実施された。当初、参加申し込みが少なく事務局では成立を危惧していたが、実際の間い合わせが寄せられ、赤字は免れた。なお、6、7月の2回は教科書や問題作りがテーマになることから、会員外の出版社の出席希望があり、理事会に提議してこれを認めることとした。月例セミナーは各回とも参加者20名を予定して積算しているため、会員各位の積極的なPRをお願いしたい。

昨夏につづき第3回教員研修夏季セミナーは7月30日に開く。詳細は本号p.4に掲載する。10月以降の99年度第2期月例セミナーは、詳細を9月上旬発行予定の次号でご案内する。

【理事会報告 その1】 協議会の現況報告

本年3月27日現在の本会会員総数は222名、転居先不明2名(鹿島英一、福田和展の2会員、新住所をご存じの方は教えてください)。ア

本年2月25日現在の会費納入状況は納入済み192名、未納者25名(ほかに前年度に納入済みあり)、2年連続未納は6名。会計監査に平井和之、加藤晴子の両氏を委嘱した。

新年度会費納入のお願い

本会の経費は年度会費2000円と有志の寄付金によっています。前年度の納入率は88%でした。会員各位のご協力に感謝しております。

今年度も本号に振替用紙を同封いたしましたので、お振り込みをお願い申し上げます。納入済みの方には同封しておりません。前年度未払いの方にはその分もご請求しました。

事務局のご案内

156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文学部中国文学研究室内
全国中国語教育協議会
郵便振替口座 00120-0-364168
(会費・寄付金振込にご利用下さい)
なお、お問い合わせ・ご連絡等は、
お手数でも郵便でお願いいたします。

【理事会報告】(p. 1 からつづく)

収支報告(会費の部) ※前回(98年3月27日現在でニューズレター第6号掲載)後の分

〔収入〕	〔支出〕
98年度会費 396,000	切手・葉書 138,020
寄付金 19,000	事務用品 12,442
寄付者芳名(荒屋勸、滝澤恭子、陳文正、 中島利郎、秦耕司、渡邊晴夫)	事務幹事手当 60,000
合計 415,000	セミナー補填 12,385 (年間赤字補填)
前回繰越金 163,787	合計 222,847
総計 578,787 (円)	⇒⇒⇒ 差し引き残高 355,940(現金+振替貯金)

収支報告(セミナーの部)

〔収入〕	〔支出〕
月例セミナー 323,500	講師謝礼 310,000 (各回180分3万円、 4月のみ録音資料作成費1万を加える)
夏季セミナー 76,500	講師旅費 60,000 (11月、12月)
合計 400,000	バイト謝礼 8,000 (4~7月各1名)
	事務+諸経費 34,385
(注)受講料は1回=¥2,500、ただし一括 申し込みは2回=¥4,500、3回=6,500、 4回=¥8,500、各回ごとの申し込みは、 その都度¥2,500としている。	(打ち合わせ会費及び夏季研修分 食料費、飲料代等を含む)
	合計 412,385
	⇒ 差し引き赤字 12,385 (会費から補填)

98年度活動報告 ※第1回理事会(1998. 3. 27)以後の活動

1)会報(ニューズ・レター)の発行

第6号(5. 28) 第7号(7. 7) 第8号(9. 10) 第9号(12. 8) 第10号(99. 2. 25) 号外(98. 4. 18)

2)セミナー(教員研修)・交流会等 (注)第9号掲載の参加者数は誤記あるため今回修正す。

☆月例セミナー(会場: 国際文化フォーラム会議室)

4月 4日(土) 孫 玄齡	中国語の話し方 一発音のポイントを探る	参加者16名
4月11日(土) 奥水 優	初級文法の教え方—なにを教えるか(1)	(1)+(2)で
5月 9日(土) 奥水 優	初級文法の教え方—なにを教えるか(2)	合計39名
6月 6日(土) 奥水 優	初級文法の教え方—どのように教えるか(1)	(1)+(2)で
7月11日(土) 奥水 優	初級文法の教え方—どのように教えるか(2)	合計52名
10月17日(土) 孫 玄齡	中国語発音教育の経験から	12名
11月14日(土) 山田真一	基礎段階のガイドライン(語彙編)	10名
12月12日(土) 古川 裕	基礎段階のガイドライン(語法編)	16名

☆夏季セミナー(会場: 日本大学文理学部)

7月30日(木) 渡邊晴夫	外国語の評価とテスト—英語と中国語の場合	
武信 彰	中国語試験問題の作り方—良問・悪問	参加者17名

☆その他

5月 8日(金)	中国大使館教育処で「漢語教師联谊会」を開催	参加者約50名
----------	-----------------------	---------

【理事会報告】(p. 2 からつづく)

99年度活動方針

1) 会報(ニュース・レター)の発行

前年度と同様に5回を予定(99年5月、7月、9月、12月、00年2月)。

(注)上記予定のうち5月が遅延したため、7月以降の発行を順延し、年度内に調整する)

2) セミナー(教員研修)・交流会等

前年度と同様、土曜日利用のセミナーと、夏期休暇利用のセミナーの2本立てで実施。月例セミナーは4~7月と10~12月の各月第二土曜を原則とし、新しい試みとして、これまでのような講師からの一方通行を排し、出席者からも発信可能な方式をとることにした。

3) 研究論集の刊行 ※下記の項目参照。

年次大会の開催時期

時期について、中国語学会と連動させることの可否、高校等の会員の便宜をめぐり、理事の意見やアンケート調査で一致点はなかった。企画については授業参観以外は特に具体的、積極的な提案がなかった。全般的な空気として年度末の3月末が有力で、事務局は今後アンケート等を参考に、3月であれば10月末には案内予告が必要としている。

研究論集の刊行

2月末現在、公募論文3点と委嘱論文1点が届いている。公募分は連休までに査読を実施し採否を決める。目下の課題は刊行時期よりも論集の内容であるが、事務局では年次大会の際に配布するのが望ましいと考えている。理事会での議論は論集の性格や水準ならびに刊行費用の問題に集中した。充実した論集作りを願って、しばらくはニュースレター以外に、投稿原稿やセミナー報告掲載の「研究月報」的な刊行物を出す案もある。

協議会の財政基盤

セミナーの運営は独立採算制をとり、若干の赤字は通常会費から補填するとしても、現在の財政状況では研究論集刊行経費は負担できない。理事会では会費改訂や賛助会員新設等の意見が強く出されたが、会長は設立の趣旨や経緯からこれらに消極的であった。

その他

大学以外の会員勧誘、セミナーのPR、東京以外でのセミナー開催等が話し合われた。

第1回アンケート調査の結果について

前号ニュースレターに葉書による会員アンケートを添えましたが、残念ながら回収は23通(約11%)でした。以下に各項目別の主たるご意見を掲げるとともに、今後の運営に役立てます。なお本号ではお休みしましたが、アンケートは今後も続けます。

1) セミナーの企画 試験問題作り・初級教授法・中級教授法・授業計画・授業について意見交換・ガイドライン作成・“了”の教え方・もっと細かい問題を・日本人学生の

弱点・毎年同じでよい・外国の中国語教育
2) 年次大会開催時期 夏休み(8月)7、7月中旬1、9月前半2、休暇中か週末3、12月中下旬1、10~12月1、11月初1、3月2、6月4、5~6月3、いつでも可1(複数回答)
3) 年次大会の企画 模擬授業・ガイドライン討議・各種検定試験の問題点・大学入試・発音指導と矯正法・聞く話す力の伸ばし方、テーマなしで特定講師への質問会・最新の言語教育/学習理論・世界漢語教学学会の報告・学習に有益な歌やゲーム・その他

おことわり 毎号掲載の「中国語教育リサーチ・レポート」は紙幅の関係でお休みします。

🌀 第3回中国語教員夏季セミナー開催案内 🌀

中国語教育協議会では教員研修を最も重要な活動として取り組んできた。月例セミナーと夏季セミナーの二本柱も軌道に乗ってきた。今後この事業を一層発展させるとともに、近い将来その成果を集大成して、教育方法と教育内容の質的向上を図りたいと考えている。

今年度の夏季セミナーは集中1日で、メインテーマを「私の中国語教授法」とする。会員の調査では授業参観希望がトップを占めるが、休暇中でもあり、当面は諸般の事情で実現が難しいので、3人の講師にそれぞれの教授法を語ってもらうこととした。入門段階、初級課程、あるいは年間を通じての、授業の模様と工夫や効果を披露することになる。なお、月例セミナーと同様、事前に参加者から意見表(兼質問表)の提出を求め内容に反映させる。

テ ー マ 私の中国語教授法

日 時 平成11年7月30日(金) (下記の時間割参照)

会 場 日本大学文理学部(東京都世田谷区桜上水3-25-40)

参加費 4500円(配布資料等の諸費用を含む、事前に郵便振替で納入)

参加資格 中国語教育に従事する者、中国語教育を志す者(なるべく教育実習経験者)。

申込方法 葉書に所属・氏名・年齢・教歴(年数)・連絡先を記入し、事務局へ送付する。
7月5日(月)到着分まで先着順で受け付ける。なお、申し出があれば所属長あての依頼状を送る。(事務局への郵便物宛ては本号p.1を参照)

定 員 30名(会場の都合で増員はできません)。申し込み到着後、振り込み用紙と交通案内、意見表等を事務局から郵送する。参加費は事前納入制とする。

なお、事務局では宿泊の斡旋および当日の昼食の用意はしない。

講 師 東京外国語大学助教授 平井和之氏
広島修道大学教授 郭 春 貴氏
日本大学教授 奥 水 優氏

予定時間割	9:10	9:30	9:50~11:40	12:40~14:30	14:40~16:30	16:30~17時
7月30日(金)	受付	自己紹介	平井講師(予)	郭講師(予定)	奥水講師(予)	ミニ懇談会

99年度第2期セミナーのお知らせ

今秋以降の月例セミナーについては下記の日程で実施する予定ですが、正式のご案内を9月発行の次号ニューズレターに掲載し、その上で申し込みの受け付けをいたします。

10月9日(土) 中国語模範朗読と実践指導(予定) 講師:孫玄齡氏(東京外国語大学)

夏季セミナーに予定していたものですが、講師の都合で秋になりました。

11月13日(土) 題目・講師とも未定、リクエスト受付中

12月11日(土) 題目・講師とも未定、リクエスト受付中